

小野健商店土蔵・修復完了

昭和大火後の土蔵です。伝統的な土蔵建築で、海鼠壁や鍍絵などの凝った造りがみられます。現在地での創業は大正5年。魚問屋、マグロ船の経営、仲買をしていました。明治時代は魚町にあったといひます。屋号はマルヤマコで、先々代の小野寺健之助さんの頭文字をいただき店名にしたといひます。

震災では外壁がはがれ、装飾が破損するなどの大きな被害を受けました。SOC基金により、応急の壁工事が行われました。平成29年6月に修復が完了しました。



武山米店店舗・平成30年4月再建

昭和大火後の米店兼住宅です。町家なのですが、表に銅板を貼り装飾的な造りにしています。実はこの家の敷地は扇形。敷地にあわせてとても凝った造りになっています。創業は明治中期。大正・昭和の大火に遭遇しましたが、引き続きこの地で米穀商を営んでいました。初代が結婚記念で購入したという精工舎製（現 SEIKO）の柱時計は被災後、一度市内の河原田の店舗に移され、再建後は魚町に戻って時を刻んでいるそうです。屋号は「ヤマゴ」。

震災では一階部分が津波で大きくさらわれました。SOC基金等により応急の補修工事が行われ、平成30年4月に再建しました。



三事堂ささ木店舗・修復完了

大正期の陶器店兼住宅、土蔵です。数少ない昭和大火前の建物になります。土蔵と洋風建築を並べた和洋折衷のデザインが特徴です。創業は明治41年。商売の創業は先々代の佐々木三治（事）さんです。山に「二」でヤマニの屋号は、さらに上を目指す意で、三治さんの「三」を山に見立て、その中に「二」を入れて、掛けてあるとのこと。

震災で外部の海鼠壁や内部に被害を受けました。平成29年6月に修復が完了しました。



風待ち修復協力金のお願い
一あと1棟「千田家住宅」の資金がまだまだ足りませんー

ぜひこの歴史的建造物の保存・活用の社会的意義をご理解いただき、さらなるご支援をいただけますよう、なにとぞ、よろしくお願いいたします。

【お振込み】

七十七銀行 気仙沼支店

普通預金5497477

一般社団法人 気仙沼風待ち復興検討会

問い合わせ先

一般社団法人 気仙沼風待ち復興検討会

気仙沼市教育委員会生涯学習課 0226-22-3442

角星店舗・平成28年5月再建

昭和大火後の酒店です。魚町の屋号通りに面し、歴史的町並みを形成していました。伝統的な塗り家造りとなっています。この家も敷地が平行四辺形と不整形なのですが、海側に正面を向けるため、瓦や腕木に角度をつけています。創業は明治38年。創業時、折壁室根神社に清酒を枡に入れて献上したところ、明けの明星が御神鏡にうつり、その光が献上の酒に丸やかに輝き、屋号を角星と決めたそうです。銘柄は、陸中、陸前2つの国に亘る酒というところから、「両国」としたそうです。

震災で一階部分が流され、二階も敷地の奥に流されました。SOC基金により、応急的に元の位置に曳き家して戻し、一度解体してから平成28年11月に再建しました。



男山本店店舗・令和2年7月完成

昭和大火後の酒店です。魚町の屋号通りに面し、歴史的町並みを形成していました。三階建ての古典様式調の洋風建築です。沖の漁船から目立つパラペットの装飾と「男山」の屋号が印象的です。創業は1912年。創業時に京都八幡市にある岩清水八幡宮の宮司から「伏見男山」の名前をいただいたそうです。

震災の津波で、一、二階が破損し、三階だけがだるま落としのように瓦礫の上に残されました。その様子は、震災の象徴として多くのメディアにも取り上げられたようです。SOC基金により、応急的にもとの位置に戻し、養生しました。部材は丁寧に解体し、保管しました。

令和2年7月15日に、ついに店舗が開店しました。



千田家住宅

主屋は昭和大火の後に建てられました。附属する石蔵と土蔵は大火を乗り越えた建物です。角地に建ち、交差点に対して大きくカーブを描いた壁面が特徴です。2階には丸窓が付き、さらに煙突のような出窓が2階から3階パラペット上まで延び、船のイメージを漂わせています。角地を意識したデザイン、船のモチーフは、昭和初期の近代建築によくみられたものです。建物を建てたのは「富貞商店」といい、大正から昭和にかけて建設資材問屋を営んでいたそうです。戦前に千田家が所有し、縄やロープの製造販売、タクシー業などを営み、近年はテナントに利用されていました。屋号は「胆沢屋」。

震災で津波が2階まで浸水し内外に大きな被害を受けました。SOC基金等により応急修理を施した後、再建に向けた実測調査が完了し、設計に向けて検討中です。



再建中

*「SOC」（東日本大震災被災文化財復旧支援事業、Save Our Culture）は、東日本大震災で被災した文化財の復旧支援活動の一環として、被災地域主導での復旧活動を広く国内外に支援を訴えるキャンペーンです。文化財保護・芸術研究助成財団とワールド・モニュメント財団が連携し、文化庁の協力を得て実施されています。

文化財会場：角星店舗・武山米店店舗・三事堂ささ木・

小野健商店土蔵・男山本店店舗

協力建物：島田呉服店・十八十色ライフサービス株式会社・大鍋屋旅館

*店舗により開催期間が異なります。裏面でご確認ください。

*期間後も展示を続ける店舗があります。各店舗へお問い合わせください。

文化庁「地域文化財総合活用推進事業」



